

平成22年度活動報告 平成23年度活動方針／予算

●平成22年度活動報告

1. 同窓会組織の充実

- ①幹事会を月1回開催しました。
- ②東京秋工会発足70周年記念総会・懇親会を開催しました。
けやき会・秋高連との交流、本部、東海支部、関西支部との情報交換を行いました。
- ③職場会、同期会、同好会、ミ二同級会などを目的として総会に参加するように呼びかけました。
- ④総会参加目標130名、年会費納入会員数300名確保を実現のため、会員の掘り起こしに努力しました。
- ⑤22年度母校卒業生の同窓会入会式に参加して、東京秋工会のPR。関東地区就職者73名に総会・懇親会への参加勧誘を行いました。

2. 広報活動の充実

- ①会報「KANASA」のカラーページを増やし母校だよりを充実させました。
- ②東京秋工会ホームページ責任者に赤川均氏が就任し、内容の充実と同窓会員へのサービスを向上しました。

3. 会員相互の親睦活動の推進

- ①同好会のさらなる充実。ハイキング同好会が活動を強化し充実してきました。
- ②ゴルフ同好会、囲碁同好会の会員が増えました。

4. 会員が携わる業務上の情報収集

- ①昭和50年卒以降の若い会員の帰属意識を高め、世代格差を埋める方法がないものか研究し、可能な限り実行しました。
- ②異業種交流、現役退職者のスキル活用等、会員間の互恵関係を研究し推進しました。

5. 母校の発展に寄与

- 運動部、文化部の積極的な支援活動として、下記事項を実施しました。
- ①全国高校駅伝（京都）ナマハゲ応援
 - ②ラグビー全国大会（花園）ナマハゲ応援
 - ③駅伝・ラグビー後援会寄付取りまとめ

6. 秋田ふるさと応援団結成・他校友情応援

- ①秋田商業高校、サッカー全国大会（浦和）応援
- ②全国選抜バスケットボール大会、湯沢北高校、能代工業高校、応援。
- ③全国選抜バレーボール大会、秋田和洋女子高校、雄物川高校、応援。

●平成23年度活動方針

1. 同窓会組織の活性化・充実について

- ①各年次の幹事を選任し幹事間の意志の疎通を図ることにより、幅広い年齢層に受け入れられる運営体制づくりを目指します。
- ②地域・職場・同窓会・各部OB会などと連携し、参加者を増やすことに努めます。
- ③目標、総会参加者150名、年会費納入会員数300名確保に努めます。

2. 広報活動の充実について

- ①会報「KANASA」および「東京秋工会ホームページ」の内容の更なる充実を図り、同窓会員へのサービス向上に努めます。
- ②会員の融和、親睦を深めた、ミ二同級会、同期会が開催されるように、ホームページを積極的に活用し総会への参加を増やします。

3. 会員相互の親睦・業務上の情報交換の推進について

- ①総会や同好会および各種イベントを充実させ、同窓生相互の「きずな」を深め生涯学習や娯楽の場を提供し、会員の生きがい増進を図ります。
- ②会員が携わる業務の発展に向けて、ホームページなどを活用し、異業種交流、連携と現役、退職者のスキル活用など会員間の互恵関係を図ります。

4. 母校発展の寄与について

- ①本部・各支部の総会に積極的に参加して連携を強化します。
- ②各種運動部・文化部・全国大会出場チームや選手を激励するとともに、会員に対してホームページ等を活用して応援を要請するなど積極的に支援活動を行います。

5. 財政基盤の確立について

- ①年会費収入増加・納入率のアップを目指します。
- ②広告提供者の増加を目指します。
有力者・企業からの寄附及び献金授受に努めます。

6. 他校との交流・親睦を図る

7. 東京秋工会発足71年にむけ新スタート。

8. 秋田ふるさと応援団を積極的に支援。

9. 東日本大震災のボランティア活動推進。

●平成23年度東京秋工会予算（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(単位：円)

収 入			支 出		
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額	備 考
繰越金	427,350	22年度より	総会費	1,100,000	
年会費	810,000	270人	総会準備費	250,000	
総会費	890,000	120人	会報制作費	600,000	
総会御祝儀	70,000		渉外費	120,000	
KANASA広告料	500,000		支援費	40,000	
寄付金	100,000		広告費	40,000	
雑収入	150		幹事会費	50,000	
			交通費	100,000	
			消耗品費	80,000	
			諸手数料	50,000	
			繰越金	387,500	24年度へ
合計	2,797,500		合計	2,797,500	